

## 人を対象とする医学系研究に関する情報公開

福島県立医科大学心臓血管外科学講座では、本学倫理委員会の承認を得て、下記の人を対象とする医学系研究を実施します。関係各位のご理解とご協力をお願い申し上げます。

平成 29 年 11 月 福島県立医科大学医学部心臓血管外科学講座 講座主任 横山 斉

**【研究課題名】** 僧帽弁閉鎖不全症に対する外科的介入後の僧帽弁の形態変化および予後に関する研究

**【研究期間】**

平成 29 年 11 月～平成 34 年 10 月

**【研究の意義・目的】**

心不全症状を伴う症状を有する僧帽弁閉鎖不全症あるいは、心機能低下を伴う僧帽弁閉鎖不全症は手術の適応となり、当科でも年間 20～30 例前後の僧帽弁閉鎖不全症に対し手術を行っています。しかしながら、症例の中には術後何年かたってから僧帽弁閉鎖不全症を再発する方があり、少数ながら再手術を必要とする場合もありますが、再発の要因は未だ不明な点が多く、その解明が必要です。本研究では、僧帽弁閉鎖不全症の再発・非再発症例の僧帽弁形態変化について心エコー図法を詳細に検討することで、僧帽弁閉鎖不全症の再発の要因を特定し、より適切な術式を選択あるいは新たにすることにより、僧帽弁閉鎖不全症の予後向上を目的とするものです。

**【研究の方法】**

対象は 2001 年 4 月から 2017 年 8 月までの間に福島県立医科大学付属病院、および関連病院である太田西ノ内病院で僧帽弁閉鎖不全症に対して手術を施行された症例です。術前の既往歴や生活歴、血液検査（肝機能、腎機能、耐糖能、脂質異常の有無など）、術前検査として行われる心電図や心エコー、CT 検査の結果、手術所見、術直後からの経過観察期間における上記検査結果について情報収集します。経過観察期間において行われた心エコー情報から僧帽弁閉鎖不全の再発を観察し、再発症例でのリスクや再発・再手術回避のための方策につき検討します。

**【研究組織】**

(所属) 心臓血管外科	(職) 教授	(氏名) 横山 斉
心臓血管外科	講師	高瀬 信弥
心臓血管外科	助手	松本 理
集中治療部	助教	高野 真澄

**【他の機関等への試料等の提供について】**

提供しません

**【研究者が保有する個人情報について】**

研究者が保有する個人情報に関し、研究対象者ご本人又は代理人の方が開示、訂正、利用停止及び第三者への提供の停止等の請求を行う場合、「福島県個人情報保護条例」に基づく手続きが必要となります。なお、開示等を行う場合、請求者には文書を交付しますが、交付に係る費用（コピー代等）をご負担いただきます。

**【本研究に関する問い合わせ先】**

本研究に関する御質問等がございましたら、下記の連絡先までお問い合わせください。他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で研究計

画書及び研究の方法に関する資料を閲覧できます。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて研究対象者ご本人又は代理人の方に御了承いただけない場合には、研究対象者とはせずに試料・情報の利用、提供をいたしませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも研究対象者ご本人又は代理人の方に不利益が生じることはありません。なお、研究結果が既に医学雑誌への掲載や学会発表がなされている場合、データを取り消すことは困難な場合もあります。

○研究内容に関する問い合わせの窓口

〒960-1295 福島県福島市光が丘1

公立大学法人福島県立医科大学医学部心臓血管外科学講座 担当 松本理

電話:024-547-1283

E-mail:tommy16g@fmu.ac.jp